講義名	観光コミュニケーションB			授業形態	
担当教員	中川　典子	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 ２時限		
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	TOR283

主題と概要

グローバル社会の進展に伴い、海外へ旅行する日本人、そして、海外から来日する外国人観光客の数は増加の一途をたどっている。また、日本における観光産業の充実を図るための諸施策も大きな課題となっている。特に、旅行・観光・ホテル・レストランサービス等の業種にあっては、英語の運用能力だけではなく、業界専門用語や独特の言い回しなど、業務遂行に必要な英語力を持ったプロの養成が急務であり、このような能力をもつ人材への高い需要がある。本コースでは、ツーリズムやホスピタリティビジネスなどに興味のある受講生が明確な目的を持ち、ツーリズムのプロとして必要な英語を楽しみながら学べる授業を展開する。「英語を学ぶ」というよりも、「英語で観光業務を学ぶ」という姿勢で取り組んで欲しい。上記は「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学科のディプロマポリシーに貢献するものである。

到達目標

（１）「旅行業」「航空業」「ホテル業」といった観光産業に必要な英語表現を習得できるようになる。
（２）観光コミュニケーションに必要なリスニング、スピーキング、リーディングのスキルに加えて、観光産業の基本的な知識を得られるようになる。
（３）クラスメートとのロールプレイ演習により、実践的な英語コミュニケーション力を養えるようになる。
（４）演習を通じて、文化の多様性を理解し、受容できる異文化コミュニケーション力を養えるようになる。
上記の到達目標は、海外の顧客満足を得るために必要なホスピタリティと英語によるコミュニケーション力を培い、観光英語検定の受験に必要な知識が得られることから、「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学科のディプロマポリシーに達成に役立つ。

提出課題

（１）観光英語検定２級の単語集からの問題に解答し、Google formから提出する。
（２）テキストの内容に基づいて講師が作成した演習問題がらなるワークシートを提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストおよび提出課題の解説をパワーポイントを使って行う。

評価の基準

（１）課題（40 %）
（２）クイズ（30%）
（３）最終試験(20%)
（４）授業態度（10%）

＊コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。

履修にあたっての注意・助言他

(1)受講にあたっては、高校レベルの基本的な英語力を有すること。
(2)前掲のように、コースの評価は上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。
(3)15分以上の遅刻は欠席となる。コースの3分の１にあたる5回以上の授業を欠席すると定期試験の受験資格を失い単位を取得できなくなる。3回の遅刻で欠席1回となる。
(4)教科書は当然、購入しているという前提で授業を実施する。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。
(5)課題はMS Word形式で提出すること。スマホからの写真やテキストでの提出物は受理しない。
(6)授業開始直後の約10分間を使ってクイズを実施するので遅刻しないこと。欠席した場合のクイズの追試は実施しない。
(7)教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可。必ず新しいものを購入すること。タブレットやスマホで教科書を閲覧することは認めない。既に本コースを履修した人などからもらった教科書は使用できない。必ず、自身で新しい教科書を購入すること。
(8)授業中の態度が著しく悪い、教科書を持って来ないなどの行為が見られた場合は、大幅な減点となり落第する可能性があるため留意すること。
(9)提出課題を含むすべての連絡事項はRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて行うので、必ず確認すること。

*その他、授業に関する詳細については第1回目の講義資料で説明するので、必ず出席すること。

教科書

.English for Tourism Professionals.	Reiko Fujita	Cengage Leraning ELT	2,640	9784863123564

参考図書

その他

テキストの内容に準拠した担当者作成のワークシート等、適宜、Ryuka Portalのキャンパスクロスを通じてを配布する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク	○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				

授業内容に応じて、上記を適宜採用する。

備考	
	教科書を購入しなければ課題を提出できないので、履修登録後、すみやかに購入手続きをすること。前掲のように、教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可。必ず新しいものを購入すること。タブレットやスマホで教科書を閲覧することは認めない。既に本コースを履修した人などからもらった教科書は使用できない。必ず、自身で新しい教科書を購入すること。 授業に関する連絡事項はすべキャンパスクロスを通じて行う。

授業計画

第1回　コースガイダンスとペアワーク、英語による他己紹介
（予習内容）テキストU8のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（120分）観光英単語課題（120分）

第2回　Unit 8 Working at the Boarding Gate(1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU8のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）

第3回　Unit 8 Working at the Boarding Gate (2): Reading & Pair Work
（予習内容）テキストU9のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（60分）観光英単語課題（60分）
（復習内容）テキストのReadingセクションとペアワークの復習（120分）

第4回　Unit 9 Offering In-flight Services (1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU9のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）

第5回　Unit 9 Offering In-flight Services (2): Reading & Pair Work
（予習内容）テキストU10のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（60分）
観光英単語課題（60分）
（復習内容）テキストのReadingセクションとペアワークの復習（120分）

第6回　Unit 10 Giving CIQ Information(1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU10のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）

第7回　Unit 10 Giving CIQ Information (2): Reading & Pair Work
（予習内容）テキストU11のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（60分）観光英単語課題（60分）
（復習内容）テキストのReadingセクションとペアワークの復習（120分）

第8回　Unit 11 Taking a Room Reservation(1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU11のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）

第9回　Unit 11 Taking a Room Reservation (2): Reading & Pair Work
（予習内容）テキストU12のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（60分）観光英単語課題（60分）
（復習内容）テキストのReadingセクションとペアワークの復習（120分）

第10回　Unit 12 Welcoming Guests (1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU12のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）

第11回　Unit 12 Welcoming Guests (2): Reading & Pair Work
（予習内容）テキストU13のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（60分）観光英単語課題（60分）
（復習内容）テキストのReadingセクションとペアワークの復習（120分）

第12回　Unit 13 Helping Guests (1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU13のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）
第13回　Unit 13 Helping Guests (2): Reading & Pair Work
（予習内容）テキストU14のWarming-upエクササイズと会話リスニング課題（60分）観光英単語課題（60分）
（復習内容）テキストのReadingセクションとペアワークの復習（120分）
第14回　Unit 14 Dealing with Complaints (1): Vocabulary & Listening Exercise
（予習内容）テキストU14のReadingセクションの単語学習と読解課題（120分）
（復習内容）テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備（120分）
第15回　Unit 14 Dealing with Complaints (2): Reading & Pair Work
（復習内容）Readingセクションとペアワークの復習、定期試験の準備（240分）

＊授業の進捗状況により、内容を調整する場合がある。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

このクラスは以下の点において、「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学科ディプロマポリシーに沿うものである。
(1)海外の顧客満足を得るために必要なホスピタリティと英語によるコミュニケーション力を培うことができる。また、授業では観光英語検定の受験に必要な知識が得られるため、観光業界に就職した際、それを活かすことができる。
(2) ホテルやブライダル関連企業で就業する際に必要な英語コミュニケーション能力だけでなく、特にホテル業界で仕事を遂行するうえで必須の知識も習得できるため、「ホテル業」といった観光関連産業や地域の観光団体に就職した際に実践することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業に関する質問は随時受付け、授業中あるいはキャンパスクロスを通じて回答する。受講生からの提出物を添削し、フィードバックを行う。授業でペアワーク等、実践的な授業を実施する。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし。